

# 認定経営革新等支援機関から最新情報を配信！！

中小企業は継続！

## 賃上げを「確実な節税」に変える！ 2026年度賃上げ促進税制のポイント

2026年度(令和8年度)改正で賃上げ促進税制が見直しされます。大企業向けは2026年3月末で廃止、中堅企業向けは賃上げ要件を4%以上に引き上げた上で2027年3月末で廃止予定とされています。中小企業向けの一部上乗せは廃止となりますが制度継続となり、賃上げ増加分の最大**35%**を税額控除できます。赤字でも控除額は**最長5年繰越可能**です。



### 中小企業向け賃上げ促進税制の対象

#### 対象条件

- 青色申告している法人であること
- 資本金1億円以下であること
- 個人事業主の場合は従業員数1,000名以下であること

#### 必須要件

- 全雇用者の給与等支給総額が前年比1.5%以上増 …………… **15%**

#### 上乗せ要件 必須要件を満たした上で

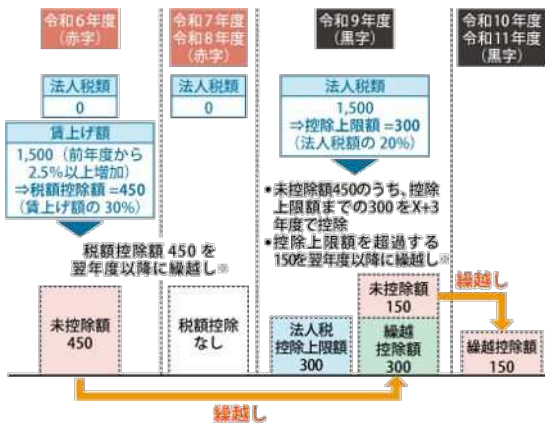
- 全雇用者の給与等支給総額が前年比2.5%以上増 …………… **+15%**
  - くるみんまたはえるぼし(2段階目以上)等の認定がある場合… **+5%**
- ※「トライくるみん」「えるぼし(1段階目)」は対象外

税額  
控除率  
最大  
**35%**

### 5年間の繰越控除

中小企業が賃上げを実施した年度に、税額控除を使い切れなかった場合、控除額を最大5年間繰り越せます。赤字年度や法人税額が少ない年度でも、翌期以降に繰り越して控除できる点が特徴です。ただし、繰越控除を使う年度についても、給与等支給額が前年より増えていることが条件とされています。

#### 繰越控除措置のイメージ



※繰り越しには、確定申告時の「明細書」添付が不可欠

【参考】中小企業向け賃上げ促進税制ご利用ガイドブック(令和6年9月20日更新版)  
↑中小企業庁

### 活用するメリット

#### メリット①: 節税効果

賃上げ分の人件費は損金算入されるため、黒字企業では法人税が軽減されます。さらに賃上げ促進税制の税額控除を活用すると、賃上げ額の約65%が税負担の軽減として戻ってくるイメージです。

賃上げ額 100万円 あたりの試算			
賃上げ額 100万円	法人税軽減 -30万円	税額控除 -35万円	実質負担 35万円

#### メリット②: 採用・定着力のアップ

賃上げに加えて「くるみん」「えるぼし(2段階目以上)」の認定を取得すると、税額控除率がさらに+5%上乗せされます。認定企業は「一般事業主行動計画公表サイト」に掲載され、子育て世代や女性が働きやすい職場として求職者へ広くアピール可能。節税しながら、採用ブランディングにもなる一石二鳥の取り組みです。

#### 賃上げ前に確認しておきたい3つのポイント

- 給与総額の増加を維持できるか確認する  
離職等で給与総額が減ると要件未達になる場合があります
- 社会保険料の会社負担分も含めてコスト試算する  
賃上げに伴い、社会保険料の会社負担分も増加します
- 継続できる賃金水準で計画を立てる  
一度上げた賃金は下げにくいので、無理のない水準設定が大切です

中小企業の賃上げ促進税制は制度継続となり最大35%、最長5年の繰越が可能です！  
「うちは対象になる?」「いくら節税できる?」などお気軽にご相談ください。

～認定支援機関で対応できます～

各種補助金申請

経営改善計画書の作成

優遇金利での資金調達

創業支援

など…

詳しくは当事務所まで  
お尋ねください

▼ 動画でも  
ご視聴できます



# 認定経営革新等支援機関から最新情報を配信！！

## 「IT導入補助金」から進化！ AIツール導入に使える 『デジタル化・AI導入補助金』を活用しよう

デジタル化・AI導入補助金(旧:IT導入補助金)は、AIを含むITツール導入を支援する制度です。ツール選定や申請には要件があるため、まず全体像と申請準備のポイントを整理します。



### 申請要件

#### 申請対象 (中小企業・小規模事業者等)

中小企業・小規模事業者等が対象で、業種ごとに「資本金」または「従業員規模」の基準が定められています(個人事業も含む)。  
例:製造業は資本金3億円/従業員300人、卸売業は1億円/100人、小売業は5,000万円/50人など。

#### 申請前に必須の手続き

- GビズIDプライムの取得
  - 発行目安:おおむね2週間
- SECURITY ACTIONの宣言
  - ★一つ星 または ★★二つ星
  - ID発行目安:おおむね2~3日

#### ツール・申請の基本ルール

- 補助対象は、事務局審査を経て登録・公開されたITツール。
- (複数者連携枠を除き)申請はIT導入支援事業者と連携して進めます。

### 加点項目

加点は枠によって対象が異なりますが、公式サイトで示されている主な例は次のとおりです。

- クラウド製品/インボイス対応製品の選定(通常枠)
- 賃上げの事業計画(3年)の策定・従業員への表明・計画達成
- IT戦略ナビwithの事前実施(結果画面添付)
- 健康経営優良法人2026/くるみん・えるぼし等の認定
- 成長加速マッチングサービスへの会員登録・課題登録

### 枠の紹介

補助率や詳細は公式サイトをご確認ください

#### 通常枠

自社の業務に合ったITツールを導入したい方向け。  
補助額:5万円~450万円

#### インボイス枠(インボイス対応類型)

インボイス対応の会計・受発注・決済ソフトを導入したい方向け。  
補助額:~350万円 ※ソフトと合わせればPC・レジ等も対象

#### インボイス枠(電子取引類型)

取引先にも受発注ソフトのアカウントを無償提供する方向け。  
補助額:~350万円

#### セキュリティ対策推進枠

サイバー攻撃などのリスク対策をしたい方向け。  
補助額:5万円~150万円 ※対象は「お助け隊サービスリスト」に掲載された登録サービスに限る

### AI活用イメージ

#### 経理 クラウド会計ソフト導入で仕訳入力をAIで自動化

取引データから仕訳を自動で作成し、入力・確認の手間を大きく減らせます。月次の締め作業を早めたい、経理担当の負担を軽くしたい企業に向けた活用です。

#### 営業 営業支援システム導入で見積作成をAIで自動化

見積作成の工程を整理し、必要な情報の入力や作成作業を効率化できます。提案スピードを上げたい、顧客との共有をスムーズにしたい場合に効果が期待できます。

#### 店舗 セルフレジ導入で会計・接客の“ムダ”をまとめて削減

レジの省人化に加えて、会計ミスの削減、客単価の向上といった改善につながる例が紹介されています。人手不足対策と収益改善を同時に進めたい場合のイメージになります。

### 申請フロー

- 制度・公募要領の確認
- GビズIDプライム取得/SECURITY ACTION宣言
- 支援事業者・ITツール選定
- 交付申請(招待→入力・添付→提出)
- 交付決定後に発注・契約・支払い(※交付決定前は対象外)
- 実績報告→補助金交付
- 効果報告(期限内提出。未報告等は返還等の扱いあり)

補助金申請にはGビズIDやSECURITY ACTIONの準備が必要です！  
早めに要件確認とツール選定を進めましょう。

~認定支援機関で対応できます~

各種補助金申請

経営改善計画書の作成

優遇金利での資金調達

創業支援

など...

詳しくは当事務所まで  
お尋ねください

▼動画でも  
ご視聴できます

